

評価項目	No.	観点	A+B/全体(%)	自己評価		自己評価の適切さ	改善に向けた取組の適切さ	外 部評価	
				自己評価についての説明及び来年度に向けての改善策				学校の取組に関する評価と今後の改善点等	
組織運営	1	自校は、学校教育目標の具現化に向けて、教育課程の編成、指導計画の作成等を工夫している。	100	総授業時数の見直しを行い、指導体制に見合った計画となるよう教育課程を編成した。教育課程及び指導計画を全学年が修了する見込みである。来年度も、総授業時数の見直しを図り、教職員の負担軽減と資質能力の向上の機会を確保するとともに、学力・体力向上と読書活動の推進・充実を課題として指導計画を改善していく。		A	A	1.現状を踏まえて立案した計画に基づき全学年が教育課程及び指導計画を終了できることは、評価できます。今年度課題として明確になった点を踏まえ、来年度の改善につなげることを期待します。 教職員の人材育成と児童、生徒への指導の向上が自立できるよう、校務分掌の配分に努めてください。 2.マニアルを組合して共有し、共通理解を図り、事業発展時に適切に対応できたことは評価すべき点です。 引き続き、緊急時対応に対応できるよう、教職員と児童・生徒の意識の向上に努めてください。 3.毎月実施している生徒指導委員会・いじめ問題対策委員会で、共通行動がとれるようにして、学校全体で共通理解を図っていることは、組織的な対応の点から評価できます。 引き続き、組織的に対応できるよう、共通理解を深め取り組みの実施を願いします。	2.先生の頑いで、委嘱した子供の模様になることで自己研磨する時間は重要です。 児童を見直すのが難しい時等、様々な事で想定し、訓練する事が意識を高めていくでしょう。 多様な情報を収集し、そのデータを正確に分析することで問題が実現化し、より一層の向上が望める良い取組だと思います。保護者アンケートでも読書活動の点では課題となっているようですが、図書室が有効活用される提案があると良いと思います。 PDCAサイクルの実施、マニュアルを活用した緊急時対応、学校全体で共通理解を図る策等、確実に実施されるには、各教職員の方々の意識の高さ、資質の高さが必要になってると思います。限られた勤務時間でそれらが実践されている事は西小学校運営の為、同じ方向を向いて生徒指導にあたっているおかげだと思います。 急を要する場合は、臨時の委員会を開など、改善されています。 適正に評価、改善に向けた取り組みが実施されていると思います。引き続きよろしくお願ひいたします。 ④事故やトラブル等に対するマニュアルの作成や、毎月実施されている生徒指導委員会やいじめ問題対策委員会等により、先生方の中で共通認識を持ち、組織的に対応しようという意識の高さを感じました。今後ともよろしくお願ひします。 日々の教育活動の他、道徳教育の研究発表や学校運営協議会での説明等を拝見し、西小全体が組織的かつ機動的に学校運営に取り組まれていることがうかがえます。
	2	教職員は、PDCAサイクルのもと学級・学年経営や教科指導、校務分掌に工夫・改善しながらあたっている。	100	会議・研修の時間を効果的に活用し、放課後に学年・学級事務の時間が確保できるように努めた。次年度に向けて、人事構成を鑑みながら、校務分掌を効果的に配置していく。		A	A	3.先生の頑いで、委嘱した子供の模様になることで自己研磨する時間は重要です。 児童を見直すのが難しい時等、様々な事で想定し、訓練する事が意識を高めていくでしょう。 多様な情報を収集し、そのデータを正確に分析することで問題が実現化し、より一層の向上が望める良い取組だと思います。保護者アンケートでも読書活動の点では課題となっているようですが、図書室が有効活用される提案があると良いと思います。 PDCAサイクルの実施、マニュアルを活用した緊急時対応、学校全体で共通理解を図る策等、確実に実施されるには、各教職員の方々の意識の高さ、資質の高さが必要になってると思います。限られた勤務時間でそれらが実践されている事は西小学校運営の為、同じ方向を向いて生徒指導にあたっているおかげだと思います。 急を要する場合は、臨時の委員会を開など、改善されています。 適正に評価、改善に向けた取り組みが実施されていると思います。引き続きよろしくお願ひいたします。 ④事故やトラブル等に対するマニュアルの作成や、毎月実施されている生徒指導委員会やいじめ問題対策委員会等により、先生方の中で共通認識を持ち、組織的に対応しようという意識の高さを感じました。今後ともよろしくお願ひします。 日々の教育活動の他、道徳教育の研究発表や学校運営協議会での説明等を拝見し、西小全体が組織的かつ機動的に学校運営に取り組まれていることがうかがえます。	
	3	自校は、事故やトラブル等に対してのマニュアルを作成・掲示・活用し、組織的に、かつ迅速に対応している。	100	マニュアルの整備と年度当初や大地震の際等に、再確認・共通理解を図った。事故発生時には、マニュアルに従いつつも、迅速に急救対応を要請したり、児童・保護者対応に当たることができた。避難訓練や研修等を生かし、児童の意識を高めるとともに、教職員の緊急事態への対応力を高めていく。		A	A	4.毎月実施している生徒指導委員会・いじめ問題対策委員会で、共通行動がとれるようにして、学校全体で共通理解を図っていることは、組織的な対応の点から評価できます。 引き続き、組織的に対応できるよう、共通理解を深め取り組みの実施を願いします。	5.先生の頑いで、委嘱した子供の模様になることで自己研磨する時間は重要です。 児童を見直すのが難しい時等、様々な事で想定し、訓練する事が意識を高めていくでしょう。 多様な情報を収集し、そのデータを正確に分析することで問題が実現化し、より一層の向上が望める良い取組だと思います。保護者アンケートでも読書活動の点では課題となっているようですが、図書室が有効活用される提案があると良いと思います。 PDCAサイクルの実施、マニュアルを活用した緊急時対応、学校全体で共通理解を図る策等、確実に実施されるには、各教職員の方々の意識の高さ、資質の高さが必要になってると思います。限られた勤務時間でそれらが実践されている事は西小学校運営の為、同じ方向を向いて生徒指導にあたっているおかげだと思います。 急を要する場合は、臨時の委員会を開など、改善されています。 適正に評価、改善に向けた取り組みが実施されていると思います。引き続きよろしくお願ひいたします。 ④事故やトラブル等に対するマニュアルの作成や、毎月実施されている生徒指導委員会やいじめ問題対策委員会等により、先生方の中で共通認識を持ち、組織的に対応しようという意識の高さを感じました。今後ともよろしくお願ひします。 日々の教育活動の他、道徳教育の研究発表や学校運営協議会での説明等を拝見し、西小全体が組織的かつ機動的に学校運営に取り組まれていることがうかがえます。
	4	自校は、すべての教育活動を通じて、教職員の共通理解のもと、組織的に生徒指導にあたっている。	100	毎月実施の生徒指導委員会・いじめ問題対策委員会を通じ、学校全体で共通理解を図り、共通行動がとれるようしている。急を要する事項については、職集や臨時生徒指導委員会・いじめ問題対策委員会を開き、周知徹底と対応にあたった。		A	A	6.毎月実施の生徒指導委員会・いじめ問題対策委員会を通じ、学校全体で共通理解を図り、共通行動がとれるようしている。急を要する事項については、職集や臨時生徒指導委員会・いじめ問題対策委員会を開き、周知徹底と対応にあたった。	7.児童生徒は、授業中、落ち着いて、学習内容を理解しようとする姿勢が見られる。
基礎学力の徹底	5	児童生徒は、授業中、落ち着いて、学習内容を理解しようとする姿勢が見られる。	100	落ち着いた態度で楽しく学校生活を送る児童が多い。一方、個別支援を要する児童が複数いる。学級担任だけでなく、学年や教務担当と連携し、学力向上支援員等の配置を工夫しながら、組織的に対応している。特別支援教育の視点から弾力的運用を活用しながら、より細やかな個別支援を行っていく。		A	A	8.児童生徒は、家庭の意識の影響を大きく受けていると考えます。児童に適切な家庭学習や自主勉強の習慣が身につくよう、引き続き、家庭の意識を高めてください。	9.児童生徒は、家庭の意識の影響を高めようとしている。
	6	教員は、学力の向上を目指し、児童生徒の実態に基づいて日々の授業改善に努めている。	100	学力調査の結果から学力面における強みと課題を分析し、学力向上プランの見直しを行うとともに、課題解決に向けた指導を行っている。少人数や専科教員による指導や授業研究等を生かし、指導力の向上を図るとともに、さらなる学力向上を目指す。		A	A	10.児童生徒は、家庭の意識の影響を高めようとしている。	11.児童生徒は、家庭の意識の影響を高めようとしている。
	7	基礎学力の定着や授業規律の徹底など、教職員の共通理解のもと学習指導にあたっている。	100	学習のきまり、西小よい子の約束等のルールを定め、年度当初に学級活動で指導したり、懇談会等で保護者に周知したりしている。授業規律を守っている児童が多いが、個別の支援や指導が必要な児童もいる。一層の共通理解・共通行動で指導を行なうとともに、全校校会や児童会等を活用し、児童が約束やルール等について十分に理解し、それらのルール等が定められている理由について理解できるよう指導を継続していく。		A	A	12.児童生徒は、家庭の意識の影響を高めようとしている。	13.児童生徒は、家庭の意識の影響を高めようとしている。
	8	教職員は、児童生徒に家庭学習を定着させるために、家庭に積極的に働きかけるなど工夫している。	100	タブレットを活用した学びを推進し、個別最適な学びの一助するとともに、家庭学習や自主勉強について、家庭からの協力や理解を得られるよう、懇談会や個人面談等で周知していく。		A	A	14.児童生徒は、家庭の意識の影響を高めようとしている。	15.児童生徒は、家庭の意識の影響を高めようとしている。
規律ある態度の育成	9	児童生徒は、友達や教職員・来校者に進んであいさつができる。	100	全体的には、相手に聞こえる声であいさつできる児童が多い。しかし、自分から進んであいさつしたり、聞かわりの少ない相手にあいさつたりすることに課題がある。まずは、教職員全員が自ら進んで模範となり、よいあいさつの仕方を示していく。また、生活委員会や児童会の取組、小中連携事業・PTAあいさつWEEKを活用し、小中や保護者と連携しながらあいさつ指導を進めしていく。		A	A	16.児童生徒は、友達や教職員が自ら進んであいさつをする。	17.児童生徒は、各学年の発達段階に応じた場に応じた正しい言葉遣いができる。
	10	児童生徒は、各学年の発達段階に応じた場に応じた正しい言葉遣いができる。	100	発達の段階に応じた言葉遣いを継続して指導していく。職員室の入り方や学習用具の借り方等、年度でまだよく手を捉えて学級・学年で指導していく。また、言語は環境であることを念頭におり、教職員自身が正しい言葉遣いを意識し、言語感覚を向上させられるよう倫理確立委員会等で周知し、研修を実施する。		A	A	18.児童生徒は、各学年の発達段階に応じた正しい言葉遣いができる。	19.児童生徒は、お互いのよさや努力等を認め合って学校生活を送っている。
	11	児童生徒は、お互いのよさや努力等を認め合って学校生活を送っている。	100	対話を意識した道徳科の授業や、グループワークを取り入れた総合的な学習の時間・生活科の授業、相互尊重を基盤とした学級活動や各行事の取組等を通して、協働的な学びを促進し、キャリア教育と関連付けながら、自己有用感を高め、互いのよさを認め合う学習環境の整備や教職員の指導力の向上を図っていく。		A	A	20.児童生徒は、お互いのよさや努力等を認め合って学校生活を送っている。	21.教職員は、すべての教育活動を通じて、児童生徒に対して規範意識を高めている。
	12	教職員は、児童生徒に対して規範意識を高める指導を行っている。	100	生徒指導について、年度当初に共通理解を図った。生徒指導委員会を活用して、適宜確認を行い、いじめ防止対策推進委員会を同時に開催し、いじめ・不登校対策・生徒指導面での課題について全職員で解釈できるよう一步踏みで指導にあたっている。また、児童にも適宜、学校の約束等について指導し、規範意識を高めている。		A	A	22.児童生徒は、お互いのよさや努力等を認め合って学校生活を送っている。	23.教職員は、児童生徒に対して規範意識を高めている。
健康・体力	13	児童生徒は、体力の向上に向け、学校生活全般で運動や体づくりに意欲的に取り組んでいる。	100	新体力テストの結果から強みと課題を見付け、週1回なかよしタイム(20分休み)を活用してランニングや短縄跳び、ダンスなどを行い、楽しく体力向上を図った。体育館に常時、反復横跳びの練習ができる環境を整えたことで授業での練習機会が増加し体力向上につながった。		A	A	24.児童生徒は、体力向上に向け、学校生活全般で運動や体づくりに意欲的に取り組んでいる。	25.児童生徒は、体力向上に向け、学校生活全般で運動や体づくりに意欲的に取り組んでいる。
	14	自校は、児童生徒の健康及び安全についての意識を高めようと努力している。	100	欠席連絡や、手洗いいうがいの徹底等、児童の健康面に対する意識は依然として高い。また、交通安全について、引き続き指導を徹底し、終業式など長期休業前に、機を捉えて指導し、健康で安全な学校生活が送れるようしている。		A	A	26.児童生徒は、体力向上に向け、学校生活全般で運動や体づくりに意欲的に取り組んでいる。	27.児童生徒は、体力向上に向け、学校生活全般で運動や体づくりに意欲的に取り組んでいる。

保護者・地域・異校種間連携	15	自校の教職員は、PTA役員と教職員で、あいさつ運動を行った。また、運動会では、PTAと協力して、準備・片付けを行った。保護者のボランティアとしての参加も多くの、日頃のPTA活動の成果である。土曜公開に合わせ、PTA親子清掃を実施し、保護者と協力して教育環境を整えることができた。	100		A	A	15.PTA役員と教職員が連携し、ともに活動している姿を見直が見ができる機会は、児童にとって、とても有益であるとおもえます。引き続き、PTAや地域の方々と協力して、児童を見守る活動を広げていただこうと期待します。16.HPにて学校運営協議会の議事録が公開されるなど、情報の公開が推進されていると感じます。メール配信を通した保護者への情報提供も充実していると認めます。引き続き、開かれた学校の情報提供を期待します。17.スクールガーデンリーダーや地域の方との連携で、児童の下校の安全を守っていただいていると感じます。引き続き、良好な関係を維持していただようお願いします。
	16	自校は、各種たよりやホームページ等で、教育活動の様子や成果・課題等について情報提供している。	100	メール配信を活用して、学校だよりや各種たよりで教育活動の様子を保護者に伝えるとともに、ホームページについても行事や学期末等に更新を行った。今後も継続し、保護者や地域への情報提供を行っていく。	A	A	18.学校区内のせきね幼稚園と交流会を実施できたことは、幼からいへの移行を適切に実施する上で、とても有効なものと認識します。また、北本中学校とも連携を行っており、小から中の接続にも配慮されていることから、引き続き、この取組を継続していただきようお願いします。Oども積極的に取り組んでいる印象を受けています。
	17	自校は、保護者や地域と連携し不審子や成績対策のパトロールや声かけ運動などの計画を立てて定期的に実施している。	100	教務による毎日の登校指導や学級担任による下校指導、不審者情報の発信や安全に関わる学級指導を行い、安全を確保できた。今後もスクールガーデンリーダーや地域の方々の協力をいただきながら、取組を継続していく。また、次年度以降は、保護者からの協力も積極的に得ていきたい。	A	A	19.各種たよりの配信については、保護者より、学校の様子がわから親子の間もふえているようです。ぜひ継続を。Oお子様の交流会なども充実してほしいと思います。・中・小中連携は、児童生徒の交流、教員の交流なども積極的に進めてください。教員の交流については、労力対効果を上げられるよう、小中が一緒に実施方法等を研究していく必要があると考えます。
	18	自校は、異校種間(幼保小、中高等)の連携を積極的に推進している。	100	幼保小連携事業としての連絡会や、せきね幼稚園との交流会を実施することができた。小中連携サミットや歌声交流、部活動体験や愛(あいさつ)運動など、小中連携で実施した事業もある。次年度に向け、職員の授業参観も含め、連携事業をさらに充実していく。	A	A	20.登校時に大きな事故がなかったことは、安全指導の取組の大きな成果であると認めます。マナーについてでは、地域の方からの連携や保護者からの相談を改善し機会と受け止め、適切な対策が講じられることが期待します。21.学校運営協議会での説明を受け、校内での対応方法のルールなど、その共有が図られていることを確認しました。問題が発生した際は、保護者や地域との連携は活発に行われていると思います。・中・小中連携は、児童生徒の交流、教員の交流なども積極的に進めてください。教員の交流については、労力対効果を上げられるよう、小中が一緒に実施方法等を研究していく必要があると考えます。
学校独自の項目(～安全事故防止～)	19	自校は、児童が安全に登下校できるよう指導している。	100	安全指導の積み重ねの成果から、大きな事故なく、登下校できている。しかし、登下校のマナーについて、地域の方からご指摘を受けたり、保護者から相談を受けたりすることもある。引き続き、地域や保護者の協力を得ながら指導と登下校の見守りを実施していく。	A	A	22.施設・設備の不具合の発見・修繕、そして、修繕ができないとの教育委員会の改善要請など、引き続き、ケースに応じた対応をお願いします。
	20	感染症拡大防止に係る対策を行ない児童や職員の健康及び安全に努めている。	100	欠席連絡の入力や連絡、手洗いうがい、換気等感染症対策の徹底を行い、感染症拡大防止に努めている。また、保健集会や放送等で啓発している。	A	A	23.学校運営協議会においても電子黒板を活用して様々な説明を受けるとともに、授業においても効果的に電子黒板を活用していました。引き続き、活用方法について確認し、効果的に活用するよう、お願ひします。
	21	家庭との連絡から得た情報をお校内でも共有し、保護者と校内組織が連携して問題に対応している。	100	学年主任を中心とし、学年での指導に重点を置きながら、報・連・相を徹底するとともに、記録を残すことと、校内で共有化を図り、組織として問題に対応するよう努めている。また、必要に応じて、外部組織と連携し、問題の早期解決を図っていく。	A	A	24.義務教育である以上、安心・安全に進むるの必須です。いつも自配り、気配りありがとうございます。O大人の義務です。
	22	施設・設備の不良箇所の発見に努め、修繕している。	100	教職員による毎月の安全点検、PTA役員及び学校運営委員による点検を実施した。不具合については、修繕に努めた。用務員やSSS、西小サポートーの協力を得ながら、修繕を進めている。年度予算では、修繕しきれないものについては、教育委員会に改善申請を行い、早期解決を目指していく。	A	A	25.校内施設・設備における安全上の措置や配慮は、適切に行われていると考えます。今後も、教職員一人一人が児童の目線に立って危険を見つけていたい姿勢を大切にしていくください。
学校独自の項目(～豊かな心の教育～)	23	教育効果を高めるよう教科備品・教具を活用している。	100	GIGAスクール構想の推進に向けて、ICT機器を活用した授業展開を行った。各教科・領域、学年主任を中心に、効果的な教科備品の活用や管理・整頓を進めている。今後も、予算を十分に活用し、不足している備品の購入計画を進めている。	A	A	26.校内に注意喚起の印押やお知らせがあり、生徒が分岐りやすく安全に過ごせるよう配慮されています。先生方の負担になってしまうまでもないと思われます。定期的に更新することで生徒の意識が継続できると思います。
	24	教室や校舎内の掲示・展示は、教育効果を高めるよう工夫し、環境美化を通して豊かな心が育つよう、きれいな学校づくりを推進している。	100	各学級や委員会、図書、保健、西小サポートーなどにより掲示物の充実を図っている。道徳教育推進モデル校の本発表をよい機会と捉え、掲示物の一新した。次年度も、様々な行事や公開日等をめやすに、掲示物の一新を図っていく。	A	A	27.登校中の交通ルールに関するご指導、自転車に対するご指導等ありがとうございました。子どもたちの交通安全に対する意識が高まっていると思います。慣れてくると油断してしまいがちですので、引き続きご指導と見守りをお願いいたします。
	25	道徳教育や体験活動を通して、心の教育(特に思いやりのりや共生の自覚、豊かな心を育てる二二)を充実させる指導を行っている。	100	道徳科の授業を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度の育成を行うとともに、別葉に基づいて、全教育活動で道徳的視点を意識した指導を行った。学年課題研究である小中一貫教育(令和の日本型学校教育の構築と基礎的・汎用的能力の育成)に向けて、道徳教育とキャリア教育を関連付け、心の教育を充実させていく。他教科・領域との関わりを生かし、体験活動も増やしていき、さらなる充実を図る。	A	A	28.登校下校の安全確保については、教職員の目を離さずから起こることへの対応は難い。保護者や地域が、子供を見守る当事者として認識していただけたらと思います。
	26	すべての教育活動の場で人権意識の高揚を図り、具体的に指導を行っている。	100	夏季研修にて、人権教育に関する研修を行い、教職員の人権意識の高揚を図った。あわせて、人権作文や人権標語に取り組み、校内に掲示した。いじめ撲滅強調月間の取組もを行い、道徳教育と関連付けながら児童の人権感覚の育成を図った。引き続き、人権意識の醸成・高揚を目指した指導を行っていく。	A	A	29.夏季研修を含め、学校を見て回るのが楽しみです。目標があり、途中経過も表示されるなど、結果を見るのが楽しみです。
通常学級との交流教育を進めている。また、特別支援教育から学級経営などとすることを必要とする児童の支援をしていく。	27	通常学級との交流教育を進めている。また、特別支援教育から学級経営などとすることを必要とする児童の支援をしていく。	100	通常学級とひまわり学級の交流を行ながら、障害に対する理解を深めている。また、通常学級に在籍している児童で、配慮をする児童について、状況に応じて、ひまわり学級での授業を行なうなど支援を図っている。次年度に向けて、定期的に授業交流情報交換会を開き、共通理解を図りながら進めていく。また、生徒指導と特別支援教育のあり方にについて再度確認し、指導と支援のバランスをしっかりととした教育活動を展開していくために、春・夏季休業集中には、生徒指導・特別支援教育の研修を行い、全職員の資質能力の向上を図る。	A	A	30.道徳教育に関する研究を進めています。研究委員が終わった後に、その成果や取組をどう継続させていくか、あるいは最も重要なポイントなのはなれません。

学校 独自 の 項目 （学 力 向 上）	28	学校課題研究（学校4・3・2制）及び各校内研修等に、積極的に取り組んでいる。	100	学校4・3・2制については、令和4年度までの委嘱研究を基礎とし、新たな研究課題について研究を進めた。また、学校課題研究として「県道徳モデル校」の委嘱を受け、実践を積み、本発表を無事に終えることができた。しかし、研究の負担が一部の職員に集中する場面も見られたため、次の研究に向け、役割分担を明確にするとともに、適宜見直し・改善を図っていく。また、学校4・3・2制の本発表に向けて、研究のまとめるよう、改めて3校共通のテーマ、研究主題、目指す児童生徒像等に立ち返り、これまでの取組を振り返るとともに、児童・職員の変容を見取っていく。	A A	28.県道徳モデル校において実施した事業を振り返り、「研究の負担が一部の職員に集中する場面も見られた」と自己評価したことは、実績を整理し、改進につなげるためにたいへん重要な視点であったと認識します。課題であった点は、将来的に適切に改善できるよう努めるとともに、児童の学齢に応じた学びの連続性を担保できるよう、学校4・3・2制の推進をお願いします。 29.児童一人一人の理解度の差がある中で、その特性や学習達成度に応じた指導はとてもいいへんでもあるのと見えます。働き方改革との両立等、多くの工夫苦労があることは思いますが、引き継ぎ、児童一人一人に寄り添った取り組みをお願いします。 31.授業見学の際は、どのクラスも児童の元気で活発に授業に参加している姿を見ることができました。近年、人と人との直接のコミュニケーションを苦手とする若者が増えていると聞きます。引き継ぎ、取組を続けることで、西小学校の児童たちが自分の意見を自分の言葉で適切に相手に伝えることができるよう成長してくことを期待しています。 32.クラブ活動や委員会活動、学校行事は、児童が授業以外で、多様な経験ができる貴重な機会であると考えます。引き継ぎ、クラブ活動や委員会活動、学校行事の内容工夫し、児童にとって有意義なものとしていたよう、お願いします。 33.タブレットは、現代においては誰も活用できなくてはならないツールであると認識しますが、その活用スキルの向上は、学校の授業の方法によって異なるものと見えます。また、教育活動に有効に活用することにより、学力の向上においても、学校間の格差を埋めることが期待されます。引き継ぎ、効果的な活用の検討と実践をお願いします。 ○成長差が大きい年ごともあるので、少人数指導はありがたいです。 ○日本人は大人一人で発表する機会も増えて、インプットのみならずアウトプットによって記憶にも残ることでしょう。 ○手筋的な学びでは得られないものより豊かな人生を送るためにも学びは重要です。 29.運営委員会で限られた教職員の人数で少人数指導の大変さを伺い、児童ひとりひとりの学力向上のためのご苦労が窺えます。 30.児童の身近なところに現れる働きを置き、キャリア教育と道徳教育とを連携付けながら実践していくことが、児童が自身の将来を見据える上で重要だと思います。 33.GIGAスクール構想の実現に向け計画的に進行されると感じています。教育活動におけるICT機器の導入は教職員の業務経済に有効と考えております。なので児童への情報モラル教育とメディアリテラシーがさらに重要なと思っています。 ○少人数指導については、先生方が一人一人に行き届き大切なことだと思います。ぜひ継続してほしいと思います。 ・個別対応が必要な生徒が増えていく中で、学力向上の取り組みは大変なものも多いと思いますが、丁寧に分析して対応策の検討がされていると思います。引き継ぎよろしくお願ひいたします。 ・授業中、意見を交換する場面が多くありました。どのクラスも全員参加できている様子がありました。引き継ぎ、よろしくお願いいたします。 ○精神的に学力向上に向けて工夫していくだけだと思います。 ○精神的に学力向上に向けて工夫していくだけだと思います。今後、さらにICT機器が教育に導入されていくと思いますので、学校の授業タブレットの操作方法やタブレット指導等いただけるとありがたいと思います。 ・学力向上については、全教職員が教育活動の中心に据え、日々の教育活動で取り組んでいくことがよく分かります。 ・引き継ぎ、学校全体で組織的に取り組んでいくことを期待します。 ・学校教育の連続性の視点に立ち、小学校・中学校が相互につなぐことを意識し、具体的な方策を講じていくことが必要であると感じます。
	29	少人数指導（TT含む）等の指導を意識し、指導方法や学習指導法を意識し、授業改善を積極的に行っている。	100	少人数指導を実施したりTTでの指導を実施したりすることができ、きめ細かな指導を行なうことができた。また、各教科の授業改善プランと学力向上プランの見直し、県学力・学習状況調査の分析の仕方を見直し、児童一人一人の特性や学習到達度に応じた指導方法の充実を図ることができた。継続し、学力のさらなる向上を目指していく。	A A	32.クラブ活動や委員会活動、学校行事は、児童が授業以外で、多様な経験ができる貴重な機会であると考えます。引き継ぎ、クラブ活動や委員会活動、学校行事の内容工夫し、児童にとって有意義なものとしていたよう、お願いします。 33.タブレットは、現代においては誰も活用できなくてはならないツールであると認識しますが、その活用スキルの向上は、学校の授業の方法によって異なるものと見えます。また、教育活動に有効に活用することにより、学力の向上においても、学校間の格差を埋めることが期待されます。引き継ぎ、効果的な活用の検討と実践をお願いします。 ○成長差が大きい年ごともあるので、少人数指導はありがたいです。 ○日本人は大人一人で発表する機会も増えて、インプットのみならずアウトプットによって記憶にも残ることでしょう。 ○手筋的な学びでは得られないものより豊かな人生を送るためにも学びは重要です。 29.運営委員会で限られた教職員の人数で少人数指導の大変さを伺い、児童ひとりひとりの学力向上のためのご苦労が窺えます。 30.児童の身近なところに現れる働きを置き、キャリア教育と道徳教育とを連携付けながら実践していくことが、児童が自身の将来を見据える上で重要だと思います。 33.GIGAスクール構想の実現に向け計画的に進行されると感じています。教育活動におけるICT機器の導入は教職員の業務経済に有効と考えております。なので児童への情報モラル教育とメディアリテラシーがさらに重要なと思っています。 ○少人数指導については、先生方が一人一人に行き届き大切なことだと思います。ぜひ継続してほしいと思います。 ・個別対応が必要な生徒が増えていく中で、学力向上の取り組みは大変なものも多いと思いますが、丁寧に分析して対応策の検討がされていると思います。引き継ぎよろしくお願ひいたします。 ・授業中、意見を交換する場面が多くありました。どのクラスも全員参加できている様子がありました。引き継ぎ、よろしくお願いいたします。 ○精神的に学力向上に向けて工夫していくだけだと思います。 ○精神的に学力向上に向けて工夫していくだけだと思います。今後、さらにICT機器が教育に導入されていくと思いますので、学校の授業タブレットの操作方法やタブレット指導等いただけるとありがたいと思います。 ・学力向上については、全教職員が教育活動の中心に据え、日々の教育活動で取り組んでいくことがよく分かります。 ・引き継ぎ、学校全体で組織的に取り組んでいくことを期待します。 ・学校教育の連続性の視点に立ち、小学校・中学校が相互につなぐことを意識し、具体的な方策を講じていくことが必要であると感じます。
	30	「ゆずりは学習」総合的な学習の時間の実践に当たり、実績を生かした特色ある指導計画を工夫改善し、積極的に地域の人材活用等外部指導者との連携を行っている。	100	未来の北本市をテーマに、市内の人・もの・ことに関わる学習を展開した。キャリア教育・道徳教育と連携付けながら、令和4年度までの成果をさらに生かし、外部人材（人財）の活用を進め、体験的な活動を取り入れながら実感をともなった気付きが得られる教育活動を目指して展開している。そして、さらに学校課題研究の充実を図っていく。	A A	32.クラブ活動や委員会活動、学校行事は、児童が授業以外で、多様な経験ができる貴重な機会であると考えます。引き継ぎ、クラブ活動や委員会活動、学校行事の内容工夫し、児童にとって有意義なものとしていたよう、お願いします。 33.タブレットは、現代においては誰も活用できなくてはならないツールであると認識しますが、その活用スキルの向上は、学校の授業の方法によって異なるものと見えます。また、教育活動に有効に活用することにより、学力の向上においても、学校間の格差を埋めることが期待されます。引き継ぎ、効果的な活用の検討と実践をお願いします。 ○成長差が大きい年ごともあるので、少人数指導はありがたいです。 ○日本人は大人一人で発表する機会も増えて、インプットのみならずアウトプットによって記憶にも残ることでしょう。 ○手筋的な学びでは得られないものより豊かな人生を送るためにも学びは重要です。 29.運営委員会で限られた教職員の人数で少人数指導の大変さを伺い、児童ひとりひとりの学力向上のためのご苦労が窺えます。 30.児童の身近なところに現れる働きを置き、キャリア教育と道徳教育とを連携付けながら実践していくことが、児童が自身の将来を見据える上で重要だと思います。 33.GIGAスクール構想の実現に向け計画的に進行されると感じています。教育活動におけるICT機器の導入は教職員の業務経済に有効と考えております。なので児童への情報モラル教育とメディアリテラシーがさらに重要なと思っています。 ○少人数指導については、先生方が一人一人に行き届き大切なことだと思います。ぜひ継続してほしいと思います。 ・個別対応が必要な生徒が増えていく中で、学力向上の取り組みは大変なものも多いと思いますが、丁寧に分析して対応策の検討がされていると思います。引き継ぎよろしくお願ひいたします。 ・授業中、意見を交換する場面が多くありました。どのクラスも全員参加できている様子がありました。引き継ぎ、よろしくお願いいたします。 ○精神的に学力向上に向けて工夫していくだけだと思います。 ○精神的に学力向上に向けて工夫していくだけだと思います。今後、さらにICT機器が教育に導入されていくと思いますので、学校の授業タブレットの操作方法やタブレット指導等いただけるとありがたいと思います。 ・学力向上については、全教職員が教育活動の中心に据え、日々の教育活動で取り組んでいくことがよく分かります。 ・引き継ぎ、学校全体で組織的に取り組んでいくことを期待します。 ・学校教育の連続性の視点に立ち、小学校・中学校が相互につなぐことを意識し、具体的な方策を講じていくことが必要であると感じます。
	31	話し合い活動は、児童が主体的に参加できるように指導している。	100	各教科指導において、話し合い活動の充実を図り、個人の考え方を共有したり、協働して課題解決を図ったりしながら、自己の思考を広げる授業を展開している。特に、道徳科の授業では、対話を重視した。今後は、さらに表現力を豊かにする工夫を加えていく。	A A	32.クラブ活動や委員会活動、学校行事は、児童が授業以外で、多様な経験ができる貴重な機会であると考えます。引き継ぎ、クラブ活動や委員会活動、学校行事の内容工夫し、児童にとって有意義なものとしていたよう、お願いします。 33.タブレットは、現代においては誰も活用できなくてはならないツールであると認識しますが、その活用スキルの向上は、学校の授業の方法によって異なるものと見えます。また、教育活動に有効に活用することにより、学力の向上においても、学校間の格差を埋めることが期待されます。引き継ぎ、効果的な活用の検討と実践をお願いします。 ○成長差が大きい年ごともあるので、少人数指導はありがたいです。 ○日本人は大人一人で発表する機会も増えて、インプットのみならずアウトプットによって記憶にも残ることでしょう。 ○手筋的な学びでは得られないものより豊かな人生を送るためにも学びは重要です。 29.運営委員会で限られた教職員の人数で少人数指導の大変さを伺い、児童ひとりひとりの学力向上のためのご苦労が窺えます。 30.児童の身近なところに現れる働きを置き、キャリア教育と道徳教育とを連携付けながら実践していくことが、児童が自身の将来を見据える上で重要だと思います。 33.GIGAスクール構想の実現に向け計画的に進行されると感じています。教育活動におけるICT機器の導入は教職員の業務経済に有効と考えております。なので児童への情報モラル教育とメディアリテラシーがさらに重要なと思っています。 ○少人数指導については、先生方が一人一人に行き届き大切なことだと思います。ぜひ継続してほしいと思います。 ・個別対応が必要な生徒が増えていく中で、学力向上の取り組みは大変なものも多いと思いますが、丁寧に分析して対応策の検討がされていると思います。引き継ぎよろしくお願ひいたします。 ・授業中、意見を交換する場面が多くありました。どのクラスも全員参加できている様子がありました。引き継ぎ、よろしくお願いいたします。 ○精神的に学力向上に向けて工夫していくだけだと思います。 ○精神的に学力向上に向けて工夫していくだけだと思います。今後、さらにICT機器が教育に導入されいくと思いますので、学校の授業タブレットの操作方法やタブレット指導等いただけるとありがたいと思います。 ・学力向上については、全教職員が教育活動の中心に据え、日々の教育活動で取り組んでいくことがよく分かります。 ・引き継ぎ、学校全体で組織的に取り組んでいくことを期待します。 ・学校教育の連続性の視点に立ち、小学校・中学校が相互につなぐことを意識し、具体的な方策を講じていくことが必要であると感じます。
	32	クラブ活動や委員会活動、学校行事に對して、児童が主体的に参加できるよう工夫改善し、指導している。	100	委員会活動では、年間の計画を意識し、業前の集会や学校行事を活用しながら、各委員会が工夫した活動を行った。次年度に向けて、基礎的・汎用的能力の育成を視野にいれつつ、さらに自治的な活動を増やしていく。合わせて、クラブ活動においても、児童の自治的な活動を推進していく。	A A	32.クラブ活動や委員会活動、学校行事は、児童が授業以外で、多様な経験ができる貴重な機会であると考えます。引き継ぎ、クラブ活動や委員会活動、学校行事の内容工夫し、児童にとって有意義なものとしていたよう、お願いします。 33.タブレットは、現代においては誰も活用できなくてはならないツールであると認識しますが、その活用スキルの向上は、学校の授業の方法によって異なるものと見えます。また、教育活動に有効に活用することにより、学力の向上においても、学校間の格差を埋めることが期待されます。引き継ぎ、効果的な活用の検討と実践をお願いします。 ○成長差が大きい年ごともあるので、少人数指導はありがたいです。 ○日本人は大人一人で発表する機会も増えて、インプットのみならずアウトプットによって記憶にも残ることでしょう。 ○手筋的な学びでは得られないものより豊かな人生を送るためにも学びは重要です。 29.運営委員会で限られた教職員の人数で少人数指導の大変さを伺い、児童ひとりひとりの学力向上のためのご苦労が窺えます。 30.児童の身近なところに現れる働きを置き、キャリア教育と道徳教育とを連携付けながら実践していくことが、児童が自身の将来を見据える上で重要だと思います。 33.GIGAスクール構想の実現に向け計画的に進行されると感じています。教育活動におけるICT機器の導入は教職員の業務経済に有効と考えております。なので児童への情報モラル教育とメディアリテラシーがさらに重要なと思っています。 ○少人数指導については、先生方が一人一人に行き届き大切なことだと思います。ぜひ継続してほしいと思います。 ・個別対応が必要な生徒が増えていく中で、学力向上の取り組みは大変なものも多いと思いますが、丁寧に分析して対応策の検討がされていると思います。引き継ぎよろしくお願ひいたします。 ・授業中、意見を交換する場面が多くありました。どのクラスも全員参加できている様子がありました。引き継ぎ、よろしくお願いいたします。 ○精神的に学力向上に向けて工夫していくだけだと思います。 ○精神的に学力向上に向けて工夫していくだけだと思います。今後、さらにICT機器が教育に導入されいくと思いますので、学校の授業タブレットの操作方法やタブレット指導等いただけるとありがたいと思います。 ・学力向上については、全教職員が教育活動の中心に据え、日々の教育活動で取り組んでいくことがよく分かります。 ・引き継ぎ、学校全体で組織的に取り組んでいくことを期待します。 ・学校教育の連続性の視点に立ち、小学校・中学校が相互につなぐことを意識し、具体的な方策を講じていくことが必要であると感じます。
	33	GIGAスクール構想の実現に向け、教育活動にICT機器を安全に利用できるよう手立てを講じている。	100	タブレットを毎日持ち帰ることで、家庭学習での活用のほか、学級閉鎖や出席停止の際には、オンラインで授業を受けることができるようした。ただし、低学年については、持ち帰るの荷物の重量を減らすため、必要なときのみ持ち帰ることとした。GIGAスクール構想によるタブレット・端末の活用も実践を積むことができ、様々な場面で活用することができた。情報モラル教育やメディアリテラシーについても、道徳科や社会科・総合的な学習の時間・特別活動等と結びつけながら、発達の段階に合わせて指導することができた。今後も継続していく。	A A	34.働き方改革の実施と社会的イメージの変化による期待に応えることは、とても両立が難しいことであると認識しますが、その中で、限られた時間内に有効に活動し、効率性を高める取組を進めていること、とても評価をいたします。教職員の安心感は、授業のパフォーマンスに大きな影響を与えるとともに、児童にも影響を与えるものと考えます。引き継ぎ、教育の向上のための労働負担のバランスを取りながら、業務を推進していただきよう、お願いします。 33.宿題は自己実現のための活動であると認識します。各家庭でどのくらい字をとらえているのか、採点する時間も減少させています。学校ではさきかかけを与え、継続するの本人。又は、記憶してなくてはいけない。教職員の方々が心を寄せ、持続させていくだけだと見直せる部分がある事、合理化出来る部分がある事が感じられます。教職員の方々が心をもって、健康的な状態にいる環境が整っている事を望んでいます。 ○先生方の時間外勤務や出席時間が減少しないといふことがあるようですが、業務の負担が少しでも軽くなるよう改めたいと思います。 34.先生の内容から、先生方の業務削減は大変難しく、日々、努力されていると感じています。 ○働き方改革は、子どもたちにも大き影响するところにあるため、引き継ぎよろしくお願ひいたします。 ○働き方改革につきましては、市教委運営委員会だけでなく、社会全体の問題でもあり、朝早出勤や待ち帰り業務等、教職員の方々に負担を強いるといふ感覚であります。子どもたちのために、働き方改革がかかるといふ感覚であります。引き継ぎ方針がかかるといふ感覚であります。より良い指導を難しくなると思います。少しでも負担軽減に繋がる取り組みがあれば、試験的にでも実施していただけた方が良いと思います。 ○働き方改革の1要素である時間外勤務時間の縮減については、学校として努力していると考えられます。 ○改革をおして、児童と向き合う時間が増大したが、私生徒の充実が図れたかななど、見取っていくよいのではあります。 ○学校運営協議会の総括
	34	業務の削減や行事の精選、校務の整理等を通して、働き方改革を進めていく。	100	業務内容の整理や学校行事の精選を行なうとともに、在校時間の削減を図っている。総時数の削減、給食開始時期の変更、会議・研修時間の短縮、通知表様式の見直し、ICT機器の活用、SSSとの連携の強化、西小サポートやPTAとの連携の強化・促進等を進めてきた。時間外在校等時間の学校としての平均は6月以降減少傾向にある。しかし、依然、時間外在校等時間が減少しない時期や働き方改革が進んでいない業務等がある。次年度は、さらに総時数の削減を行い、会議・研修の回数や進め方の見直し、さらなるICT機器の活用、また、業務改善と時間外在校等時間に対する職員の意識改革等を進めていく必要がある。教職員が心身ともに健康な状態で児童と向き合えるように、行事内容を見直したり、校務分掌の調整を行っていく。	A A	34.働き方改革の実施と社会的イメージの変化による期待に応えることは、とても両立が難しいことであると認識しますが、その中で、限られた時間内に有効に活動し、効率性を高める取組を進めていること、とても評価をいたします。教職員の安心感は、授業のパフォーマンスに大きな影響を与えるとともに、児童にも影響を与えるものと考えます。引き継ぎ、教育の向上のための労働負担のバランスを取りながら、業務を推進していただきよう、お願いします。 33.宿題は自己実現のための活動であると認識します。各家庭でどのくらい字をとらえているのか、採点する時間も減少させています。学校ではさきかかけを与え、継続するの本人。又は、記憶してなくてはいけない。教職員の方々が心を寄せ、持続させていくだけだと見直せる部分がある事、合理化出来る部分がある事が感じられます。教職員の方々が心をもって、健康的な状態にいる環境が整っている事を望んでいます。 ○先生方の時間外勤務や出席時間が減少しないといふことがあるようですが、業務の負担が少しでも軽くなるよう改めたいと思います。 34.先生の内容から、先生方の業務削減は大変難しく、日々、努力されていると感じています。 ○働き方改革は、子どもたちにも大き影响するところにあるため、引き継ぎよろしくお願ひいたします。 ○働き方改革につきましては、市教委運営委員会だけでなく、社会全体の問題でもあります。朝早出勤や待ち帰り業務等、教職員の方々に負担を強いるといふ感覚であります。子どもたちのために、働き方改革がかかるといふ感覚であります。引き継ぎ方針がかかるといふ感覚であります。より良い指導を難しくなると思います。少しでも負担軽減に繋がる取り組みがあれば、試験的にでも実施していただけた方が良いと思います。 ○働き方改革の1要素である時間外勤務時間の縮減については、学校として努力していると考えられます。 ○改革をおして、児童と向き合う時間が増大したが、私生徒の充実が図れたかななど、見取っていくよいのではあります。 ○学校運営協議会の総括
	35	業務の削減や行事の精選、校務の整理等を通して、働き方改革を進めていく。	100	業務内容の整理や学校行事の精選を行なうとともに、在校時間の削減を図っている。総時数の削減、給食開始時期の変更、会議・研修時間の短縮、通知表様式の見直し、ICT機器の活用、SSSとの連携の強化、西小サポートやPTAとの連携の強化・促進等を進めてきた。時間外在校等時間の学校としての平均は6月以降減少傾向にある。しかし、依然、時間外在校等時間が減少しない時期や働き方改革が進んでいない業務等がある。次年度は、さらに総時数の削減を行い、会議・研修の回数や進め方の見直し、さらなるICT機器の活用、また、業務改善と時間外在校等時間に対する職員の意識改革等を進めていく必要がある。教職員が心身ともに健康な状態で児童と向き合えるように、行事内容を見直したり、校務分掌の調整を行っていく。	A A	34.働き方改革の実施と社会的イメージの変化による期待に応えることは、とても両立が難しいことであると認識しますが、その中で、限られた時間内に有効に活動し、効率性を高める取組を進めていること、とても評価をいたします。教職員の安心感は、授業のパフォーマンスに大きな影響を与えるとともに、児童にも影響を与えるものと考えます。引き継ぎ、教育の向上のための労働負担のバランスを取りながら、業務を推進していただきよう、お願いします。 33.宿題は自己実現のための活動であると認識します。各家庭でどのくらい字をとらえているのか、採点する時間も減少させています。学校ではさきかかけを与え、継続するの本人。又は、記憶してなくてはいけない。教職員の方々が心を寄せ、持続させていくだけだと見直せる部分がある事、合理化出来る部分がある事が感じられます。教職員の方々が心をもって、健康的な状態にいる環境が整っている事を望んでいます。 ○先生方の時間外勤務や出席時間が減少しないといふことがあるようですが、業務の負担が少しでも軽くなるよう改めたいと思います。 34.先生の内容から、先生方の業務削減は大変難しく、日々、努力されていると感じています。 ○働き方改革は、子どもたちにも大き影响するところにあるため、引き継ぎよろしくお願ひいたします。 ○働き方改革につきましては、市教委運営委員会だけでなく、社会全体の問題でもあります。朝早出勤や待ち帰り業務等、教職員の方々に負担を強いるといふ感覚であります。子どもたちのために、働き方改革がかかるといふ感覚であります。引き継ぎ方針がかかるといふ感覚であります。より良い指導を難しくなると思います。少しでも負担軽減に繋がる取り組みがあれば、試験的にでも実施していただけた方が良いと思います。 ○働き方改革の1要素である時間外勤務時間の縮減については、学校として努力していると考えられます。 ○改革をおして、児童と向き合う時間が増大したが、私生徒の充実が図れたかななど、見取っていくよいのではあります。 ○学校運営協議会の総括

*「自己評価の適切さについて

A: 適切な評価である B: ほぼ適切な評価である C: やや不適切な評価である D: 不適切な評価である

*「改善に向けた取組の適切さについて

A: 十分な効果が期待できる B: ほぼ十分な効果が期待できる

C:あまり効果が期待できない D: 効果が期待できず改善を要する

*学校の取組に関する評価と今後の改善点等について

・評価項目ごとの取組状況に対する評価や今後に向けた要望等を記入する。

・自己評価書の項目を網羅的に評価するのではなく、「自己評価の高かった（低かった）項目」や「今年度の重点的な取組」に絞って記入する。

*その他全体的な留意点

・外部評価書は1枚にまとめる必要はありません。（2枚以上可）

・共通項目と学校独自の項目を別様に作成してもかまいません。

・学校独自の評価項目・評価項目数は、各学校で定めてください。

・学校運営協議会の総評欄は、共通項目、学校独自の項目の両方を踏まえての総評を記入してください。